



平和祈念像の前に開いた笑顔の傘
＝長崎市平和公園（森慶太撮影）

震災被害の子らを撮影の
平和の願い込め
 笑顔の力で世界平和を
 一。子どもたちの笑顔を印
 刷した傘100本を広げ、
 平和と核兵器廃絶を訴える
 「メリー・アンブレラ・プロ
 ジェクト」が7日、長崎市
 の平和公園などであった。
 被爆65周年を機に東京の
 アートディレクター水谷孝
 次さん(59)が企画し、県内の
 デザイナーや学生、旅行者ら
 が参加。平和祈念像前では
 「子どもたちの笑顔は未来へ
 の希望です」との水谷さんの
 掛け声で一斉に傘を開いた。
 直径1・2メートルの傘に印刷
 されたのは、震災に遭った
 中国四川省やインドネシア
 ・バンダアチエ、神戸で、
 水谷さんが撮影した子ども
 たちの写真。ずらっと並ん
 だ大写しの笑顔が、被爆地
 を訪れた人の目を引いた。
 長崎市岩屋町の平林裕子
 さん(41)は長男の小学6年
 孝啓君(11)と一緒に参加。
 「平和イベントに初めて参加
 したが、すてきな試み。息子
 が笑顔で人生を送れる世界
 をつくっていかないといい
 ない」と話した。(小出入)

震災被害の子らを撮影の

平和の願い込め

長崎・平和公園など

「笑顔」「希望」の傘満開

長崎新聞

8月8日(日)
(先負・旧暦6月28日)